

## 「白石東」スポーツで行こう!

### ★第23回 白石東地区町内会卓球大会

10月27日(日)に大谷地小学校の体育館で開催されました。今回の大会は、小学生低学年男女が15名、小学生高学年男女が37名、一般・壮年男子が7名、一般・壮年女子が6名、総勢65名の選手が参加し盛大に開催されました。小学生男女は、低学年の部と高学年の部に分かれ、一般・壮年は男女別に個人戦を実施し、それぞれの種目でリーグ戦を行い、リーグ戦上位者による決勝トーナメントで優勝を争いました。各コートでは熱戦が繰り広げられ、体育館には、選手の気合いと仲間を応援する声、そして家族の大きな声援が響きました。



熱戦が続いた体育館

### ★第41回 白石区民卓球大会

11月23日(土・祝)に白石区体育館で開催されました。全参加者156名のうち、白石東地区からは27名が参加しました。小学生男女、中学生男子、中学生女子、一般壮年男子、一般壮年女子の個人戦と3地区が参加した団体戦が実施されました。個人戦小学生男・女の試合は、白石東地区が男女とも優勝から第3位までを独占するという結果でした。一般壮年女子の部では、白石東地区から参加した選手が、準優勝と第三位になる活躍、また、団体戦は、3地区によるリーグ戦が行われ、各地区実力が伯仲する中、北白石地区が優勝、白石東地区は準優勝、白石地区が第3位という結果でした。



準優勝した団体戦

この大会の参加にあたって、選手を選出・引率していただいた関係者の皆さまに感謝申し上げますとともに、大会に参加された皆さまのご健闘に拍手を送ります。

各スポーツ大会の開催案内は町内回覧によりご案内しますので、多くの皆さんの参加をお待ちしております。次号では、スポレク大会の結果をご報告いたします。

取材担当：長井

## 厚別川緑地の秋を楽しむ会

9月22日(日)に「厚別川緑地の秋を楽しむ会」が開催されました。平成22年に厚別川の河畔(白石区流通センター7丁目)にバーベキュー広場が整備され、そのオープンを記念して「厚別川緑地の秋を楽しむ会」が開催され、今年で4回目の開催となりました。



秋晴れの下 ジングスカン

当日は秋晴れの下、子どもから大人まで約150名が参加して、火起こし体験やお手玉などの昔遊び、バーベキュー(ジングスカン)を楽しみました。

参加した子どもたちは、日ごろ馴染みのない、竹馬やこま、けん玉などを、老人クラブや町内会の方々に教えてもらいながら体験していました。多世代の方々が交流を深めたものと思います。

参加者の皆さんは、深まりゆく秋のひとときを満喫していました。

この会を準備・運営されました、まちづくり協議会・各種団体の皆さまに心より感謝申し上げます。



火起こし、頑張れ!

取材担当：鈴木

### 取材スタッフ

蠣崎〔まち協〕・杉浦〔まち協〕・

鈴木〔育成〕・長井〔体振〕

お問い合わせ「白石東地区まちづくり協議会」

〒003-0026 札幌市白石区本通18丁目南2-6

TEL: 011-862-0813 FAX: 011-862-8694

スタッフ  
募集中!

白石東まちづくりセンター内

(休館：土・日・祝日)

## 第27号



### 地域限定の情報紙

白石東地区限定の情報紙「白石東まちづくり通信」を平成17年8月より発行しています。

本紙は、白石東地区まちづくり協議会が編集局になって地区内を取材し、年3回発行する予定です。みなさんも身近な話題をどしどしお寄せ下さい。スタッフが取材に参ります!

## 平成25年度 白石東地区防災訓練

白石東地区町内会連合会の防災訓練が、10月12日(土)午前10時から12時まで、南郷通20丁目南の吉田山公園において、大谷地第二町内会との共催により開催されました。

防災訓練開催にあたり、白石東地区町内会連合会の杉浦副会長と大谷地第二町内会の福田会長、白石消防署東白石出張所の石黒出張所長から挨拶があり、その後、訓練を開始しました。

当日は、各町内会と消防団から215名が結集し、訓練に臨みました。訓練内容は、救命訓練(AEDの使用法、心肺蘇生法)、煙道通過訓練、消火訓練(消火器の使用法)、ロープ結束訓練、搬送訓練(応急担架の組立、応急搬送)、防災資器材の取扱で、消防署員・消防団員の方々の指導を受けながら、参加者の皆さんは真剣に訓練に取り組んでいました。

また、今回は、札幌市防災協会のご協力により非常用食料品や防災対策用器具、避難用品などの防災用品の展示があり、参加者の皆さんは、用品を手に取りながら説明を受けていました。

訓練の最後に、白石東まちづくりセンターの田辺所長から「地域は地域で守るという意識をもって、隣近所の方々が助け合うことが重要」と閉会の挨拶がありました。

防災訓練の目的は、災害の被害を軽減するために自ら身を守る「自助」や自主防災組織及び防災関係機関などとの綿密な連携による「共助」が重要かつ必要不可欠です。このため、相互の連携を強化し、町内一人ひとりの防災意識を高めるためのものです。そして、安全で安心な住みよいまちづくりを進めるため、地域の皆さんが参加するものです。訓練に参加して、日頃から訓練しておくことが大切と改めて感じました。この防災訓練を機会に、地域における防災活動を充実させることに繋げていただければと願っております。

最後に、訓練の準備をしてくださった大谷地第二町内会の防災防犯部の皆さん、訓練の指導をしてくださった白石消防署東白石出張所や白石消防団東白石分団の皆さん、ご協力ありがとうございました。



訓練に参加した町内会の皆さん



白石消防署東白石出張所長の挨拶



救命訓練



搬送訓練

取材担当：蠣崎

## 札幌市立大谷地小学校 ～開校 120 周年を迎えて～

平成 25 年、大谷地小学校は開校 120 周年の節目を迎える記念すべき年でした。

120 年前にさかのぼりますと、日本では大日本帝国憲法が公布・施行されて間もない頃、世界ではチャイコフスキーやドヴォルザークがまだ存命で、交響曲の初演を行っていた頃の明治 26 年（1893 年）、札幌郡月寒村北通字大谷地に「大谷地簡易教習所」が設けられました。明治 33 年には、現在の場所に「白石尋常小学校大谷地分教所」が建てられ、今に至っております。開拓には、厳しい自然に耐えることや衣食住を整えることなど、並々ならぬ先人の苦労があった中で、この大谷地の地域に「未来に生きる子どもたちの教育の場」をしっかりとしたものにしてほしいという願いをもって学校を開いたことなのでしょう。このような思いを引き継ぎながら、本校の歩みは、札幌市の広がり歴史と重なりあうように発展してきました。この 120 年間に大谷地小学校を巣立った卒業生は、六千五百人を超えています。



本校では、開校 120 周年という大きな節目を機に、【これまでの学校の歩みを振り返り、感謝の気持ちをもつ】、【現在の確かな歩みに喜びをもつ】、【将来に対して大きな夢と希望をもつ】記念すべき年となるよう、『元気いっぱい 笑顔いっぱい 大谷地っ子』のテーマのもと記念事業を行いました。

7 月 20 日（土）には、本校の卒業生の多くが進学する東白石中学校の合唱部をお招きして、『大谷地っ子音楽会』を開催いたしました。今年度も全国大会に出場するなど実力ある皆さんのすばらしい歌声を聴かせていただきました。また、校歌なども一緒に歌うことができ、たいへん思い出となりました。



「大谷地っ子音楽会」



「記念式典」

9 月 18 日（水）には、『開校 120 周年記念式典・児童集会』を開催いたしました。本校児童、職員その他、札幌市教育委員会や近隣小・中学校、地域の方々にもご来校いただき、たくさんの皆様でお祝うことができました。児童集会では、元気いっぱい笑顔いっぱいで、よびかけや歌、踊りで喜びや感謝の気持ちを表現いたしました。



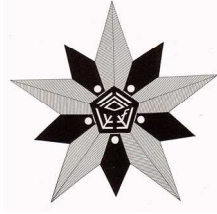
「児童集会」

11 月 6 日（水）には、『開校 120 周年教育実践発表会』を開催し、本校の教育活動を教育関係者や地域の方々をはじめたくさんの皆様に見ていただきました。

また、平成 25 年度は、上記の周年事業の他、校舎耐震化工事、外壁補修、太陽光パネル設置等の学校設備関係の工事も合わせて行なわれました。たいへん盛りだくさんの年でしたが、白石東地区の皆様をはじめ、地域の皆様のご理解とご協力を賜りまして大変充実した教育活動を行うことができました。紙面をお借りいたしましてお礼を申し上げます。

（大谷地小学校の竹村匡史教頭先生に寄稿いただきました。）

### 【校章】



銀色の大きな星は「北極星」をあらわし、大谷地の「大」を形どり、その間にある金色の五つのペンは学問のシンボルであり、文化の象徴を示した。その付け根にある赤い円は、大谷地の荒野をきりひらいた先人の開拓精神をあらわすと共に、本校教育の目指す「強健・勤勉・英知・正義・誠実」の訓を示したものである。更に五穀（米・麦・粟・稗・豆）の豊じょうを含んだものである。中央の部分は、五角形をもって「谷地」の文字を図案化したものである。

<昭和 41 年 2 月 制定>

## 第4回白石東地区健康まつり

白石東地区町内会連合会、白石区介護予防センター本通、白石区第 3 地域包括支援センターが主催し、白石東地区社会福祉協議会などが共催した「第 4 回白石東地区健康まつり」（旧 白石東地区介護予防フェア）が 9 月 27 日（金）午後 1 時 30 分から 3 時 30 分まで、白石東地区センターにおいて開催されました。

今回は、地区センターの 1 階と 2 階を会場として使用し、1 階には、お口の健康チェックやメイクアップコーナー、食の提案・試食コーナー、喫茶・健康情報コーナー、バツグン体操や脳トレ体操、ニュースポーツのコーナーのほか、社会福祉協議会や福祉のまち推進センター、民生委員児童委員協議会、老人クラブなど地域で活動している団体の活動内容を紹介するコーナーもありました。2 階には、健康相談と体内測定コーナーが設置され、保健師さんに相談をしたり、自分の体の状態を確かめたりできるため、列が途切れないほど人気がありました。

参加者の皆さんは、思い思いにコーナーを回りながら、相談や測定をしたり、体験や試食をしたり、140 名を超える来場がありました。参加した方からは、「日ごろの運動不足を感じた。もう少し体を動かすようにしたい。」「楽しめる体験や健康相談ができ、来年も参加したい。」「口の中の状況について細かく説明を受けることができ良かった。」など、参加者の皆さんから感想がありました。

自分の体の状態を再確認すると同時に、日常生活を振り返って健康への意識を高める良い機会だったと思います。定期的に健康をチェックして元気に過ごしてください。



健康相談コーナー



新登場のスカットボール



「しろっぴー」と一緒にバツグン体操

取材担当：蠣崎

## シルバーエイジ交通安全教室



毎年、白石東地区まちづくり協議会が主催し、交通安全実践会と交通安全母の会が協力して実施している、「シルバーエイジ交通安全教室」が、10 月 29 日（火）に開催されました。

この交通安全教室は、シルバーエイジの皆さんが交通事故に遭わないよう、交通安全の意識を高めていただくことを目的に開催しているもので、今回は、91 名のシルバーエイジの皆さんが参加しました。



講話を聴く参加者の皆さん

白石警察署交通第一課の稲津係長から講話、ビデオ「高齢者の自転車と歩行～立場かわれば気も変わる～」の上映、白石区交通安全運動推進委員会の交通教育指導員による交通安全教室がありました。ビデオは、交通ルールやマナーを考えない、自分勝手な自転車運転や歩行をする高齢者をモデルにしたもので、交通ルールやマナーを再確認するものでした。

参加者の方から、「自転車や歩行の際の交通ルールやマナーを改めて認識した。」「楽しみながら交通安全の意識が高まった。」などの声がありました。自分に限っては、まだまだ大丈夫と思っている高齢者の皆さん、交通事故防止を心掛けましょう。

取材担当：杉浦